

## 学校図書館スタッフの業務(文科省作成)と名古屋市立中学校図書館の業務実態

(赤字部分は図書主任が行っていること、青字部分は学校により行われていること、緑字は運営サポーターが一部の学校で実施したこと。)

～学校図書館は、管理職によるマネジメントの下、学校図書館スタッフ等の適切な役割分担により運営され、すべての教員がこれを活用して指導を行う～

	司書教諭	学校司書	図書館ボランティア (運営サポーター)	読書ボランティア (運営サポーター)
役割	学校図書館の運営に関する総括 ・学校図書館を活用した教育活動の企画・指導の実施 ・教育課程の編成、展開に関する他教員への助言等	専門的な知識・経験を有する学校図書館担当事務職員 ・学校図書館の運営に係る専門的・技術的業務、実務 ・学校図書館を活用した教育活動への協力・参画	図書館業務(実務)補助	学校における読書活動への協力
図書館経営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>図書館経営の目標・計画の立案</b></li> <li>・<b>図書館年間利用計画のとりまとめ</b></li> <li>・<b>児童生徒図書委員会の指導</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・庶務・会計</li> <li>・<b>施設設備・備品の維持管理</b></li> <li>・<b>図書資料の受入、装備、保存整理、修繕</b></li> </ul>		
	活動の点検・評価 広報・渉外活動 図書資料の選定・収集・廃棄決定		廃棄業務	
図書館奉仕		<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書資料の目録・索引の作成</li> <li>・図書資料等の展示</li> <li>・<b>掲示・飾り付け</b></li> <li>・<b>館内閲覧・館外貸出の窓口業務</b></li> </ul>	展示・飾り付け 貸出業務	展示・飾り付け
	図書館利用指導ガイダンス 教員向け情報提供・教材等準備への協力 図書資料のレファレンス・サービス			
読書指導	読書指導計画の立案			
	読書相談 図書(読み物)の紹介・案内 読書指導に関する教員への助言・研修 読書活動の企画・実施			読み聞かせ、ブックトーク等
教科等指導	情報活用能力に関する児童・生徒への指導			
	学校図書館を活用した指導に関する教員への助言・研修			

※計画の立案・とりまとめや、点検・評価、図書資料の選定等については、学校図書館スタッフが中心となり、学校全体の協力を得て(各教職員の意見等を踏まえて)実施。

### 問題点①

名古屋の学校図書館担当者は、一般教員の役割と兼務で、司書教諭の役割、学校司書の役割を引き受けさせられている。時間的にも能力的にも通常の教員のキャパを超えているので、仕事としては、**児童生徒図書委員会の指導、購入図書**の選定、配架だけに終わっているケースが多い。

志のある教員は、**図書館**だよりの作成や**読書指導**にも意欲を持つが、時間的な保証がなく、又、管理職や一般教員の理解と支援がない場合が多いので、一般化していない。

### 問題点②

問題①と同じ理由から、図書資料の電子データ処理、**装備を出入り業者のサービス**に頼ってきた。この状態が長年続いているので、電子データ処理、装備を学校側が行うべきものという認識すら学校側にはない。

### 問題点③

教科等での指導で学校図書館が使われることはほとんどない。

理由としては

- ・学校図書館運営が学校運営の周辺部に置かれてあること。
- ・担当者が1, 2年で代わるケースが多いこと。
- ・若い教員を図書主任にしても、年配の教員に指導・助言が出来ないこと。
- ・更に授業等への指導助言は教務主任の役割と考えられていること。
- ・教務主任は学校図書館運営を経験することが稀であり、図書館教育に関する知識と理解が欠如していることが上げられる。